



Clew社の事業について

持続可能な社会を促進するシェアモビリティサービス

株式会社 Clew

代表取締役 西本 統

Clew社の許諾を得ない資料の利用・転送は固く禁じます

■ 株式会社 Clew の事業について

モビリティサービス（ハード・ソフト）を通じて人々の生活圏を広げる

展開エリア

✓ 京都

ターゲット

✓ 京都市民と通勤者 — 100 万人

→ 京都市内で移動する 16～69 歳の男女

✓ 観光客 — 5000 万人

想定利用シーン

✓ 日常利用

✓ ビジネス利用

✓ 観光利用



Confidential 複製・配布禁止

■ 今後Clew社が提供するもの

Hardware
aspect

ラストワンマイルモビリティ

圧倒的に便利な「交通インフラ」の補完サービス

- ▶ まずは京都市内であればいつでもどこでも
自転車という移動の手段がもてる サービスを提供



「観光客・市民20-30万人が日常的に生活圏を広げるサービス」をタッチポイントに

Confidential 複製・配布禁止



Ride beyond

「あなたの世界を少し広げる、モビリティカンパニー。」

シェアサイクルをはじめとする、様々な移動手段（モビリティ）を提供する企業であることを表現するため、モビリティに必要不可欠な“タイヤ”をモチーフに社名をデザインし、モビリティの疾走感と、企業やサービスとしての上昇感を、Eの中線とWの中線で表しました。「CLEW」には“つながり”や“糸”という意味がありますが、CLEWの文字を繋げることによって、「糸を紡ぐように、それぞれ点で存在するものをモビリティによって繋げ、人々の生活圏を広げていく」というイメージを落とし込みました。

そのフォルムから、企業としての強さ・愚直さ・ロジカルさと、サービスとしての安心感・安定感が感じられ、キャッチコピーである「make your world a bit broader（あなたの世界を少し広げる）」を実現する企業に合ったロゴデザインです。

シェアモビリティ

CLEW



© Clew 社の許諾を得ない資料の利用・転送は固く禁じます



シェアモビリティサービス Clewとは？



乗りたい時に借りて、行きたい場所で返すことができる
電動自転車のシェアサービス



アプリ1つで貸出・返却・清算ができ、
片道移動で A ポートから B ポートへ移動して、乗り捨てができる



出先でご自身の自転車を持っていなくても
その場のポートですぐ借りられて便利！





利用方法

STEP.01



アプリ登録

STEP.02



アプリで借りる

15 分前から予約可能
ポート外でも一時駐可能

STEP.03



返却する

ポートで鍵を施錠
アプリで清算



料金体系

都度利用

▼ちょっとした移動に

Short Ride

ショートライド

88YEN / 10MIN

▼ゆったり余裕をもって乗りたい方に

Long Ride

ロングライド

330YEN / 60MIN

1ライドの1日上限 **2,200YEN**

観光利用

▼京都観光にぴったり！

どの自転車でも

何回でも

One Day Pass

1dayパス (アプリ購入)

1,650YEN

(利用当日23:59まで有効)

One Day Pass

1dayパス (ウェブ購入)

1,870YEN

(利用当日23:59まで有効)

月額利用

▼通勤通学など日常づかいに

どの自転車でも

何回でも

Monthly Pass 10

月額パス 10

何回でも最初の10分まで無料

1,430YEN

以降 **44YEN / 10MIN**

Monthly Pass 30

月額パス 30

何回でも最初の30分まで無料

2,200YEN

以降 **44YEN / 10MIN**



車体詳細



電動アシスト

3つのモード別走行距離 ※メーカーの基本スペックより

パワー
約 **42** km

オートマチック
約 **54** km

ロング
約 **80** km



カルパワードライブユニット



スマートロック

- ・ ノーパンクタイヤ
- ・ オートライト
- ・ シマノ内装3段変速ギア
- ・ 電動アシスト(3つのモード)
- ・ カルパワードライブユニット搭載
(安心と信頼の Panasonic 製の最適なアシスト力)
- ・ スマートロック (GPS モジュール内蔵)
- ・ スリムバスケット
- ・ くるピタ



顧客に提供する価値



鉄道空白地帯を網羅

駅前と鉄道空白地帯にポートを増やし、
これまで移動が不便だったエリアを便利に。

- ⇒出先で約1駅分の距離を自由に移動したい人
- ⇒時間に変動があるバスに乗りたくない人



駐輪場所・駐輪代の心配いらず

駐輪困難エリアにもポートを配備し、
もう駐輪場探しに困らない！

- ⇒出先に長期で自転車を置いている人
- ⇒ちょっと停めたい人、路上撤去を経験した人



片道利用ができる

出先から、駅やお店へのちょっとした移動に、自分の
自転車やレンタサイクルではできない片道利用が可能。

- ⇒1日の天候や予定に合わせ移動手段を変えたい人
(午前が雨で午後が晴れ / 会社の帰りの運動 / 自転車に乗れない飲み会帰り)



自転車保険の心配や、メンテナンスが不要

保険も利用料金に含まれているので安心！定期的に全ての自転車をメンテナンス。⇒たまにしか自転車に乗らない人

あらゆる場所で自転車という
移動の手段を持つことができるようになる



終電・終バス後も安心

電車やバスを乗り逃してしまった時も、
24時間使える PiPPAがあるから安心。

- ⇒仕事や飲み会など遅くまで行動している人



ポートイメージ



ポートマップ

京都市内の全てのポートを
自由にご利用いただけます

← 詳細はこちら



駅前



商業施設



オフィス



駐車場



ホテル



マンション

■シェアモビリティサービスPiPPAを京都信用金庫の13支店に導入

<京都の金融機関初>地域との「絆」を共に「繋ぐ」

シェアモビリティサービスPiPPAを京都信用金庫の13支店に導入

株式会社Clew

〒600-8101 京都府京都市下京区



株式会社Clew（以下「Clew」）は、Clewが運営するシェアモビリティサービス「PiPPA（ピッパ）」を、京都信用金庫（本店：京都市下京区、理事長 岸田 隆之）に京都の金融機関として初めて導入いたします。



「地域との「絆」を共に「繋ぐ」」

かねてより京都のまちを盛り立てている「京成・地域共生プラットフォーム」にて、今年度の報告書にClewが選ばれ、第二年度の活動に参画する旨が記載されたことがきっかけで、この度シェアモビリティサービスPiPPA「ピッパ」を三事業用金庫の支店14カ所に導入することとなりました。

各事業用アクセススペースなどを活用してシェアサイクルの駐輪スペース（以下、「ポート」）を設けることで地域住民の利便性が向上し、支店のポートが一つの拠点となり、まちや人々との関わりを促し、結果的にまちがコミュニティの形成を共に目指していきます。私たちは、この導入をより地域に深く根付くきっかけとして、当会の職員や市民と人・人と地域が繋がるようなサービスを提供していくことで「行きたいな場所」から「つながる

Confidential 複製・配布禁止



「カーボンニュートラル」が実現できる持続可能な社会を目指して事業構築にあたっています。



授業を契機にシェアサイクル導入
コロナ禍における移動支援や SDGs の観点で
新たなシェアサイクル活用法を探る

12 つくる責任
つかう責任



【SDGs の目標 12-5】

2030 年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、
リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。

Confidential 複製・配布禁止

京都市とClewがシェアサイクル連携協定を締結

住む人も訪れる人も安心して安全な利用環境と豊かなまちづくりを目指します

京都府京都市（以下、京都市）と株式会社Clew（以下、Clew）は、シェアサイクルの更なる利用・普及を促進し、公共交通を補完する安心・安全で利便性の高い持続可能なシェアサイクルの利用環境を創出するため、連携協定を結びます。この連携によって、住む人や訪れる人にとって便利な移動手段を提供し、シェアサイクルの普及を通じて、より生活を豊かにできるまちづくりを目指し、ひいては京都市の活性化に寄与してまいります。



京都市
CITY OF KYOTO

CLEW
Make your world a bit broader



マーケットリーダーとして市内の多くの商業施設や、府・市の公共施設にポートを提供



Confidential 複製・配布禁止





協業パートナー

NTT
docomo
bike share

NTT ドコモ傘下の自転車シェアリング運営会社。



各主要駅前にポートを設置。京都市において京阪電鉄は、
住民・観光客の両者に欠かせない。



京阪三条駅



京阪七条駅



一般財団法人
京都市都市整備公社

京都市内において駐車場や駐輪場の運営を基幹事業として行っ
ており、もともと京都市の外郭団体であったことから、多く
のエリアで市営受託業務なども行っている。



駐車場 看板下



駐車場 精算機横

■「京都から」 持続可能なまちづくりの実現を目指す、シェアモビリティ事業強化のため資金調達を実施

「京都から」 持続可能なまちづくりの実現を目指す、シェアモビリティ事業強化のため資金調達を実施

シェアモビリティをグッドポイントにまちの未来をつなく、地域と共生し環境に優しくまちに暮らしていくサービスを提供

株式会社Clew

Twitter Facebook

株式会社Clew（本社：京都市下京区、代表取締役：西条 健、以下「Clew社」）は、株式会社京都銀行（京都市下京区、代表：土井 敏彦）がグループ会社である京銀リース・キャピタル株式会社（京都市下京区、代表取締役社長：竹中 健一）と共同で設立した「環境未来ファンド3号 for SDGs」と、一般社団法人京都市都市整備公社（京都市下京区、理事長：山根 誠彦、以下「京都市都市整備公社」）と共同で実施する第三種資金調達の実施し、シェアモビリティ事業拡大のため、資金調達を実施したことをお知らせいたします。

本資金調達の実施により、Clew社は、環境未来の「シェア・モビリティ」事業の拡大・発展に貢献し、持続可能なまちづくりの実現に貢献します。また、京都市都市整備公社は、Clew社が提供するシェアモビリティサービスを通じて、環境未来のまちづくりを実現し、持続可能なまちづくりの実現に貢献します。また、京都市都市整備公社は、Clew社が提供するシェアモビリティサービスを通じて、環境未来のまちづくりを実現し、持続可能なまちづくりの実現に貢献します。



Confidential 複製・配布禁止

■引き受け先の京銀リース・キャピタル株式会社のコメント



シェアサイクル、PPPAの存在は業種から認識して居り、本事業の買収前入が、京都市が推進する交通政策の国庫交付や特種交付金等、様々な地域課題の解決及び、都市機能の向上に資するものであると考えを固めます。PPPAは、元々東京のオーシャンブルースワート社の運営を全額譲渡されているものでしたので、当社の京都地域での事業については注目をしてはいたのですが、今回、同じ京都圏の責任者であった西本氏が新たに設立したClew社にて、京都地域に対してサービス展開を進めていくことをお聞きし、地元密着機関として改めて思いに共感し、出資を決めさせていただきました。

本投資を通じて京都銀行グループとして当社の成長と発展を支援し、当社が掲げる持続可能なまちづくりの実現を共に目指していきます。

京銀リース・キャピタル株式会社 取締役副社長 河野 隆彦氏

■引き受け先の一般社団法人京都市都市整備公社のコメント



京都市都市整備公社は、Clew社が運営するシェアモビリティサービス「シェアサイクル（中略）」事業と、連携による業務提携しており、当社が運営する駐車場事業の強みを生かして駐車場に駐輪場などのサービススペースにホールの導入を推進すること、駅周辺へのパーク＆ライドを推進し、近隣住民に有効な移動手段の提供を行うことができ、そのような取り組みが、環境未来のまちづくりを実現し、持続可能なまちづくりの実現に貢献します。

また、環境未来のまちづくりの実現に貢献することを目指し、Clew社と共に成長していきます。

一般社団法人京都市都市整備公社 理事長 柳井 祐広氏



○の数字は Scope3 のカテゴリ

サプライチェーン排出量 = Scope1 + Scope2 + Scope3

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2：他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3：Scope1、Scope2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）

画像出典：<https://ggpartners.jp/article/000178.html>

2023年10月31日



SDGs行動宣言 株式会社 Clew

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
環境に配慮した取り組み	 	・環境に配慮し温室効果ガスを排出しないクリーンな移動手段としてシェアサイクルの利用促進を図ります。 ・廃棄車体から利用可能な自転車パーツは取り外し、リユースしていくことで資源の効率的な利用を促進し、消費と生産の持続可能性を高めます。 ・お客様との契約については基本的に電子契約を行い、ペーパーレス化に努めています。
安心・安全なまちづくり	 	・住む人や訪れる人にとって便利な移動手段を提供するとともに、だれもが安心・安全でよりよい生活を送ることのできるまちづくりに貢献していきます。 ・自治体、大学と連携し、不法駐輪および放置自転車の減少に努めます。 ・災害時にはシェアサイクルの活用に関心・安全なまちづくりに貢献します。

わが社は、モビリティサービスを通じて人々の生活圏を広げ、「人とお店」「人と環境」「人とまち」「人とひと」などを繋ぎ、インクルーシブなサービスの構築を進めます。

また自転車をはじめとする地球環境にやさしいシェアモビリティの利用促進を図るとともに、地域の企業様とのポート・サービス連携を通し持続可能でだれもが住みたくなるまちづくりに貢献します。



Current month

Previous month

Month before last

Dec 2023

Payment is due at the end of the month and billed the following month

CO2 reduction

537 g

Calories burned

208 kcal

JOY RIDE

Bike Share
SDGs

Total charge

¥0

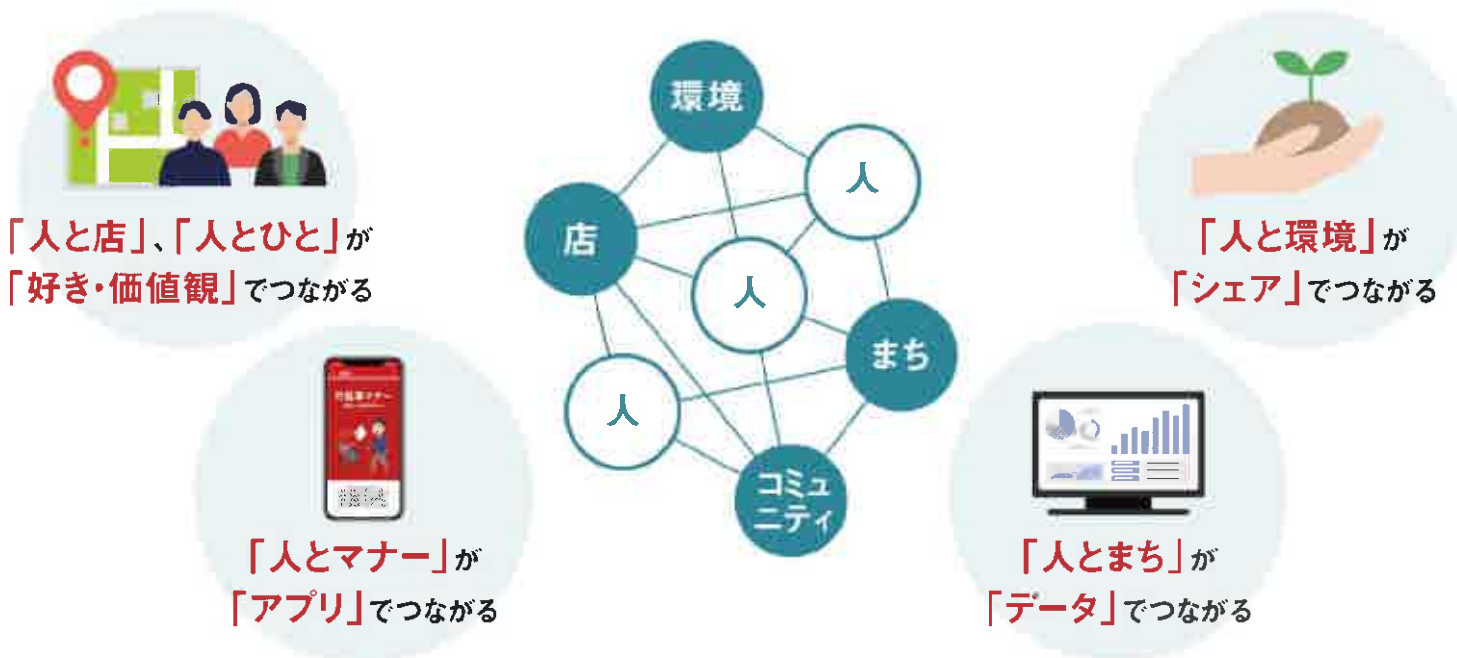
Not applicable

(with tax)

環境に優しいシェアモビリティサービスを促進。

同サービスを「顧客・その他のサービスへのタッチポイント」として捉え、
「人とまち」、「人とひと」、「人と店」、「人と環境」などを「つなぐ」。

脱炭素社会の促進を通じた持続可能なまちの構築と、
まちとシェアモビリティが共生する、安全でやさしい都市環境の創出を目指します。



Confidential 複製・配布禁止



メリットとご負担部分

オーナー様のメリット



ポートオーナー様に
売上の一部分配

自転車のメンテナンス
保険加入不要

違法駐輪・放置自転車対策

物件価値の向上・集客

無料利用できる
専用パスの導入特典あり

オーナー様負担

駐輪スペース

弊社負担



導入費用や維持管理費用
0円で設置可能！

(自転車・標準設置物・
設置作業・サービス運営全般含む)

自転車のメンテナンスや
バッテリー交換は弊社負担

自転車保険完備のため
安心して導入可能

自転車の再配置

(補充や回収)



ポート設置の流れ

約
10
日
間

	敷地の測量	自転車の最大設置台数を算出・設置方法をご提案。
	設置方法確定	自転車設置台数、路面テープや置き看板等の設置方法も踏まえて協議・確定。
	契約の締結	弊社契約書をご確認いただき、契約手続き。
	ポート設置	自転車、その他ご希望のポート設置物を設置。
	利用開始	当日設置後すぐにアプリでサービス利用が可能。

初期費用
なし

工事なし



Ride beyond